

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】



|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故  |
| 2. 体験した事例の名称    | 訓練時、可搬式ウィンチを活用し渡過線を設定中に左腕にかんざしが当たり受傷したもの。   |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 訓練場において陥没救出訓練を行おうと、可搬式ウィンチを活用して渡過線設定を開始した。<br>展張を開始しながら、ロープのよれを確認中、ワイヤーに設定している蝶結びが外れ、左前腕部にかんざしが当たり受傷したもの。             |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 可搬式ウィンチを活用して渡過線を設定時、蝶結びの環をフックに確実に掛かっていることの確認を怠ったことに加え、受傷者が展張線に極めて近い位置にいたために、輪がフックから外れた際にかんざしが張力により勢いよく引き戻される際に腕にあたった。 |

## 【体験した事例の直接的な原因について】



|                  |  |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 |  |
|------------------|--|

## 【体験した事例について】



|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 12 月 1 日 午後 3 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                        |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：訓練場                   |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。          |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 軽傷                       |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 飛来・落下ぶつにぶつかる             |
| 7. 事例体験時の活動                      | 演習訓練 [ 救助（通常時の訓練） ]      |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 渡過訓練                     |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 |                          |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                      |   |
|----------------------|---|
| ○当事者A                | 年齢[ 31 ]歳、勤続年数[ 11 ]年、現場経験年数[ 3 ]年、階級[ 消防副士長 ]、同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                     |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                     |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |   |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした   | その他・備考など |
|------|-------|---|----------|
| 経過1  |       | 訓練場で渡過線設定のためかんざしを設定した蝶結びをワイヤーに設定し、セーフティーキャッチを閉鎖 |          |
| 経過2  |       | 可搬式ウィンチによる展張を開始                                 |          |
| 経過3  | 受傷隊員  | 展張操作時に救助ロープに撚れが発生したために操作を一時停止し、かんざしを半回転させた。     |          |
| 経過4  |       | 展張操作を再開   |          |
| 経過5  |       | 張力550kgの段階で蝶結びが外れ、渡過線上にいた隊員（受傷隊員）の左前腕部に当たった     |          |
| 経過6  |       |   |          |
| 経過7  |       |   |          |
| 経過8  |       |   |          |
| 経過9  |       |   |          |
| 経過10 |       |   |          |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。指揮者が適切に指示しなかった。後方からの監視が行き届いていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい  |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | はい  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

図 受傷事故発生時の状況

